

やまぐちの学童保育 ニュース

山口県学童保育連絡協議会(山口県連協)

〒742-0424 岩国市周東町差川803

TEL 090-3597-9720 FAX 0827-84-1316

E-mail: yamaguchikennrennkyou@ab.auone-net.jp

新制度学習会開催

関心が高まる学童保育！！

6月25日(水)と7月5日(土)と「学童保育」がTVで取り上げられました。

6月では「指導員不足」のこと、7月では「待機児童40万人！どうする学童保育」という内容です。女性の社会進出には欠かせない学童保育に関心が高まっています。



学習会講師の三井さん

六月二十二日(日)午前中に運営委員会を行い、午後には定期総会と新制度学習会を行いました。学習会では県内県外の学童保育関係者、光市議員の方約三十名が集まり熱心に学んでいました。講師には三多摩学童保育連絡協議会副会長で保護者08の三井正勝さんを迎え「子ども・子育て支援新制度と学童保育」学童保育連絡協議会の役割」という内容でお話をしていただきました。新制度では、対象児童が「六年生までの小学生」となり、学童保育が市町村事業としての位置付けられます。その中で、いかに当事者としての意見を関係機関へ伝えていくかが大きな力ギとなります。そして、そのためには指導員や保護者同士が繋がる必要があります。学童保育連絡協議会では、学習会や研修会を通して、当事者同士が学び合い交流しながら、関係機関に現状を伝え改善していくという役割があります。二〇一五年四月に向けて一つの大きな波がやってきました。そのときに力を結集するために多くのの方の協力が必要なのです。

厚生労働省で、第1回放課後児童クラブの質の向上のための研修企画検討会が開催

2015年4月からの新制度では、指導員の資格には、都道府県が実施する認定研修を受けることが義務付けられています。

その認定研修の課目や時間数などを決めていく、検討会が立ち上がりました。

予定では、4ヶ月間で7回の検討会を行い、認定研修ガイドラインをまとめていきます。とりまとめ後、各都道府県へ通知を行う予定です。

2つの議員連盟とが総会を開催！！

学童保育を応援する国会議員の議員連盟が、相次いで総会を開催しました。

それぞれの総会では、内閣府、厚生労働省、文部科学省から、新制度での学童保育の位置づけ、産業競争力会議(成長戦略)での学童保育の位置づけなどについての説明があり、全国学童保育連絡協議会からの要望を聞き、学童保育の拡充のための課題と政府への要望などが話し合われました。



定期総会の様子

第2回山口県学童保育連絡協議会総会を山口県セミナーパークで開催しました。昨年、学童保育が大きく変わろうとしたなかで、どうしても県の連絡協議会をと設立に踏み切りました。この間、皆さんの努力が実り、会員も大きく増えて今回の総会を迎えることができました。県との懇談会も2回行い、学習会も2回開催することができ、地域の実態や課題もたくさん見えてきました。今後は、学童保育を充実・発展させていくためには、より一層の学童指導員の参加、また保護者の協力・参加が必要だと感じています。(会長・世良)

定期総会

今回は、学童保育に関する活動報告や国の動き、また第十二回山口県学童保育講座についての打ち合わせです。

朝早くから、六自治体十四名の皆さんが集まってくれました。初めて参加の方もいましたので簡単な自己紹介を交え、約二時間の会議でした。

今年で十二回目となる学童保育講座は山口県学童保育連絡協議会発足を機会に、今まで参加が少なかった東部地域を巻き込み開催する予定です。全体会では毎年お世話になってる前崎先生が講師を務めて下さり、分科会では山口県福岡県、岡山県、埼玉県と学童保育を携わり、「活躍をされている方々が講師を務めて下さる予定です。指導員・保護

**第12回山口県学童保育講座
2014年11月9日(日)に開催決定!**

今年で12回目を数える、山口県内での学童保育の研究集会です。これまで、指導員が中心となり、企画、運営をしてきました。

午前中に参加者全員を対象に全体会を行い、午後にそれぞれ分科会に分かれて学習します。昨年は全体会に小瀬小学校椛田校長先生をお招きし、学級づくりのコツについて講演していただきました。分科会では、学童保育の生活づくりや気になる児童の対応、昔遊びを学んだりと指導員にとって役立つ講座となっています。

今年度の講座は、障害児の分科会を担当していただいていた前崎先生に全体会の講師をお願いしました。分科会も山口県、福岡県、岡山県、東京都の指導員さんをお願いしています。

これまでより参加地域を拡大し県内からより多くの参加が予想されます。この講座をきっかけに、県内・地域での交流が広がり、より一層学童保育内容が充実できればと考えています。

また、保護者の立場から学童保育を支えていくという方にも学童保育を知ってもらう良い機会だと思えます。



運営委員会の様子

者・学童保育関係者に有意義な研修の機会にしたいと思えます。

月刊「日本の学童ほいく」誌のご購読を!!

「日本の学童ほいく」誌は、働きながらの子育てや、指導員の実践、学童保育をよりよくしていく活動などに役立つ雑誌です。

「子どもの発達と学童保育の生活」「指導員の仕事」などの学童保育に関わるテーマや、学童保育での遊び、宿題、行事など保育の課題を取り上げて、ベテランから新人指導員まで、役立つ内容がいっぱいです。

国や自治体の動き、各地域での取り組み、全国学童保育連絡協議会の活動など、最新の情報を掲載しています。また、売上の一部は山口県学童保育連絡協議会の財政に充てられます。講座や研修会などをより充実させるためにも、一人でも多くの方に購読をお願いします。

山口県連協加盟・月刊「日本の学童ほいく」誌の購読についての問い合わせは
県連協メールアドレス(担当・瀧口)
yamaguchikennrennkyou@ab.auone-net.jp

学童保育(放課後児童クラブ)実施状況調査

2014年5月1日現在の学童保育実施状況を県内自治体ごとに調査しました。

結果は8月頃に全国学童保育連絡協議会ホームページにて公開する予定ですが、簡単なものも山口県学童保育連絡協議会ホームページに載せております。

学童保育入所児童数 11,782人
学童保育所数 335ヶ所
公立小学校数(305校)

に対する設置率 110%

学童保育が校区に
設置されていない小学校数 53校
把握している待機児童 18ヶ所 122人

県内各自治体ごとの情報はホームページ、「山口県学童保育連絡協議会」で検索